

男性相談事業【足立区】

個別事業費	330 千円
交付金額	165 千円

地域の実情と課題

足立区では平成29年度より男性DV被害者を対象に女性相談員による男性DV電話相談を行ってきたが、実態としては家族・夫婦関係等の家庭内の悩みや、旧来の「男らしさ」の価値観による男性の生きづらさ、それらによるストレスからのDV加害の悩み等、様々な男性の悩みが寄せられている現状があった。また、同性の相談員への相談を望む声も寄せられていた。

目的・目標

男性の多様な悩みを相談できる場を提供することで、男性を取り巻く様々な悩みに寄り添う。

【相談件数／年
現状値 11件(R5時点)、目標値 36件(R7時点)】

事業の特徴

従来から実施していた女性相談員による相談(電話のみ)に加えて、令和5年度から男性相談員による相談(電話・面談)を新規に開始した。月2回(第2月曜日・第4金曜日)受付しており、夕方から夜間にかけて実施することで、就労者でも相談しやすい体制を整えている。

連携団体

【委託先】 特定非営利活動法人女性ネットSaya－Saya

事業の効果

被害者だけでなく加害者からの相談もあり、DV予防の観点でも効果があると考えます。

これまでは女性相談員による電話相談のみであったが、同性の相談員や面談も選択できるようになり、より相談者に寄り添った支援が可能となった。新規の相談依頼も寄せられていることから、一定のニーズがあると考えます。

今後の課題

相談窓口の認知度を向上させることで、顕在化していないニーズを窓口へつなぐべく、引き続き啓発を行う。

SNS等での広報

足立区HP、X(旧・Twitter)での周知

男性相談のご案内

お悩み抱えていませんか？お気軽にご相談ください（相談無料・秘密厳守・匿名での相談可）※男性の相談員が対応します。

男女参画プラザでは、DV、パートナー、家族、人間関係、ハラスメント、生き方、心のモヤモヤなど、男性が抱える様々な悩みを相談できる「男性相談」を実施しています。

悩みを話して、気持ちを整理してみませんか？男性の相談員がお話をうかがいます。秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。（相談方法は電話または面談を比べます。）

こんな相談ができます（例）

- 毎日妻の顔をうかがって生活している
- 妻やパートナーからの暴力・暴言がづらい
- パートナーからの束縛が激しい
- これってハラスメントなのかも
- 生活を支えなければ…と追い詰められている
- 「男らしさ」に疲れた。弱音を聞いてほしい



チラシの配架

男性相談 (DV相談)

無料
秘密厳守

のご案内

こんなことで悩んでいませんか？

パートナーからの束縛が激しい

妻からの暴力はもう耐えられない

恋人からの暴言がづらい



ひとりで悩まずご相談ください

(DV被害を受けている方が対象です。個人のプライバシーは守られます。)

【完全予約制】男性相談のご利用について

相談時間・相談方法	曜日	相談時間(1回50分)	相談方法
月・火・金曜日	午前11時～午後3時	※正午～午後1時を除く	電話のみ ×
水・木曜日	午後4時～午後7時		電話のみ ×
原則	午後6時30分～	午後8時30分	電話または面談(予約時に選択) ★男性相談員が対応します。
第2月曜日			
第4金曜日			

★電話相談を選択された方は、相談用ダイヤルをご案内しますので、予約時間になりましたら、ご自身から電話をかけてください。

予約方法

多様性社会推進課
03-3880-5222に電話
(平日9時から17時)
もしくはHP(24時間)
から予約受付



お問合せ先

足立区男女参画プラザ (多様性社会推進課)
電話：03-3880-5222 / FAX：03-3880-0133
Eメール：danjo@city.adachi.tokyo.jp
所在地：足立区梅田7-33-1 エル・ソフィア内
(東武スカイツリーライン「梅田」駅から徒歩3分)

※女性相談員(電話のみ)は、交付対象外の内容。

利用者の声

- 第三者に相談してよかった。
- 不安が減り、今後の見通しがついた。利用してよかった。

令和5年度

電話	6件
面談	5件
合計	11件